

大塚グループの大鵬薬品
新たに事業継続マネジメントシステム国際規格「ISO22301」の認証取得
～災害時における大塚グループ製品の安定供給の体制強化～

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫、以下「大塚 HD」)の子会社である大鵬薬品工業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小林将之、以下「大鵬薬品」)は「抗がん剤の安定供給」に関して事業継続マネジメントシステムの国際規格である「ISO22301^{*1}」の認証を、5月16日にBSI^{*2}ジャパンから取得しました。「ISO22301」認証取得は、組織が事業継続マネジメント(BCM: Business Continuity Management)という観点から、万全な事業継続能力を備えていることを証明するものです。

大塚グループは、今まで個々のグループ各社で実施していた取り組みを見直し、大塚HDおよびグループ各社が共同し、グループ全体で事業継続に取り組む体制を構築しています。

2012年8月「医薬品、飲料および食品の生産と安定供給」の認証取得から段階的に適用範囲を拡大し、2015年4月の「輸液の安定供給」での取得に続き、今回新たに大鵬薬品が加わりました。

今回の認証取得により、大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚倉庫など大塚グループ全体で災害発生時においても最大限事業活動を継続し、安定した製品供給ができるよう対策・体制の強化に努めてまいります。

*1) ISO22301: 2012年5月に発行された事業継続マネジメントシステムの国際規格で、組織が災害、疫病などによって被る事業中断の影響を最小限に抑え、事業継続上の脅威に対処する能力を明示するための規格。

*2) BSI(British Standards Institution: 英国規格協会)。1901年の設立以来、世界初の国家規格協会として、またISOの設立メンバーとして活動する規格策定のプロフェッショナル。BSIが開発した多くのBS規格(英国国家規格)はISO規格の原案として採用されています。BSIグループジャパン株式会社(BSIジャパン)は、1999年に設立されたBSIの日本法人で、日本国内での規格の認証件数は最多の審査機関です。

